

松阪市立小中学校体育館空調設備整備 DB 事業

審査講評

令和 8 年 10 月

松阪市立小中学校体育館空調設備整備事業事業者選定委員会

— 目 次 —

1. 松阪市立小中学校体育館空調設備整備事業事業者選定委員会の設置	1
2. 委員会の開催経過.....	1
3. 審査結果.....	2
3.1. 第一次審査	2
3.2. 第二次審査.....	2
3.2.1. 基礎審査.....	2
3.2.2. 加點審査	3
3.3. 入札価格の確認	3
3.4. 価格点の算出.....	4
3.5. 総合評価	4
4. 審査講評.....	5
4.1. 本事業の実施に関する提案	5
4.2. 空調設備の整備に関する提案	5
4.3. ライフサイクルコスト等に関する提案	5
4.4. 防災対策に関する提案	6
5. 総評.....	6

1. 松阪市立小中学校体育館空調設備整備事業事業者選定委員会の設置

松阪市(以下「市」という。)は、松阪市立小中学校体育館空調設備整備DB事業(以下「本事業」という。)を実施するにあたり、専門的見地から意見を聴取し、本事業を実施する民間事業者(以下「事業者」という。)を公正かつ適正に選定するため、学識経験者等により構成される松阪市立小中学校体育館空調設備整備事業事業者選定委員会(以下「委員会」という。)を設置した。

委員会の構成は、次に示すとおりである。

	氏名	所属・役職等
委員長	永井 久也	三重大学教授
副委員長	原田 峻平	名古屋市立大学准教授
委員	尾崎 充	殿町中学校校長
//	松本 尚久	松阪市建設部 部長
//	若山 幸則	松阪市教育委員会事務局 局長

2. 委員会の開催経過

委員会は計3回開催し、市からの諮問事項についての審議等を行った。委員会の審議等の経過は次に示すとおりである。

委員会	開催日	主な議題
第1回	令和8年3月18日	①委嘱状の交付・委員長・副委員長の選出等 ②今後のスケジュールについて ③入札説明書について ④落札者決定基準について 他
第2回	令和8年4月14日	①第1回事業事業者選定委員会による意見対応について ②要求水準書について ③第3回及び第4回事業事業者選定委員会について
第3回	令和8年9月18日	①仮審査における意見交換 ②プレゼンテーション・ヒアリング ③意見交換・加点審査 ④総合評価・優秀提案者の選定 ⑤審査講評

※第2回の議題である「第3回及び第4回事業事業者選定委員会について」は、第4回の内容を第3回に含め開催した。

3. 審査結果

3.1. 第一次審査

下記の応募グループから入札参加資格確認申請書類の提出があり、資格審査及び実績審査を行った結果、当該応募グループの入札参加資格が認められた。

なお、第一次審査の応募者は1グループであった。

応募グループ構成	
代表企業	株式会社日乃出エヤコン
構成企業	富士電設備株式会社
構成企業	東邦ガスエナジーエンジニアリング株式会社
構成企業	株式会社アスカ総合設計

3.2. 第二次審査

3.2.1. 基礎審査

当該応募グループから提出のあった入札書類及び事業提案書等の内容について、不備や未記入の書類がなかったこと、要求水準を満たしていることを確認した。

3.2.2. 加点審査

委員会において、落札者決定基準に基づき、当該応募グループが提出した提案書類について技術評価点を付与した。

加点審査の結果は、以下のとおりである。

	No.	評価項目	配点	点数
本事業の実施に関する項目	1	事業実施における体制	3 点	2.28 点
	2	リスクへの対応の妥当性	3 点	2.28 点
	3	事業実施における地域貢献	19 点	14.67 点
空調設備の整備に関する項目	4	設計及び施工業務等の実施体制及びスケジュールの妥当性	10 点	8.40 点
	5	空調設備の特徴	6 点	4.80 点
	6	学校現場に配慮した設置	10 点	7.20 点
	7	フレキシビリティへの配慮	5 点	3.80 点
	8	整備に向けた安全確保の妥当性	15 点	10.80 点
	9	環境への配慮	4 点	2.72 点
ライフサイクルコスト等に関する項目	10	ライフサイクルコスト等への配慮	10 点	7.60 点
防災対策に関する項目	11	災害時の対策	15 点	12.60 点
技術評価点 合計			100 点	77.15 点

3.3. 入札価格の確認

市は、令和8年9月18日に応募者の立会いのもと、入札価格が予定価格を上回っていないことを確認した。

3.4. 価格点の算出

当該応募グループの入札価格について、予め落札者決定基準に公表された算式により価格点として算出した。入札価格は提示した以下に示す予定価格以内で、かつ、1グループの提案であることから、価格点として100点を付与した。

予定価格:3,523,582,700 円(消費税及び地方消費税を含む。)

内、設計業務に関する予定価格:100,672,000 円(消費税及び地方消費税を含む。)

施工業務に関する予定価格:3,355,794,200 円(消費税及び地方消費税を含む。)

工事監理業務に関する予定価格:67,116,500 円(消費税及び地方消費税を含む。)

応募グループの入札価格		3,344,000,000 円
	内、設計業務に関する入札価格	44,000,000 円
	施工業務に関する入札価格	3,267,000,000 円
	工事監理業務に関する入札価格	33,000,000 円

※消費税及び地方消費税を含む。

3.5. 総合評価

委員会は、次表のとおり総合評価点を算定し、当該応募グループを優秀提案者として選定した。

(総合評価点の算定結果)

	株式会社日乃出エヤコンを代表企業とする構成企業グループ
技術評価点	77.15 点
価格点	100.00 点
総合評価点	177.15 点

4. 審査講評

4.1. 本事業の実施に関する提案

- ・ 松阪市立小中学校空調設備整備の実績がある市内企業と、官民連携事業に関する豊富な経験と実績を有する市外の企業が協働する体制が高く評価できる。
- ・ 全40校の現地調査及び設計を事前に実施し、各校で想定される課題を明確にしており、工期遅延リスクの低減を図っている点が評価できる。加えて、豊富な経験を活かしつつ、様々なリスクを想定・対応できるようリスク管理委員会という場を設けている点も評価できる。
- ・ 代表企業が市内企業であるとともに、構成企業として複数の市内企業が参画していることや、市内企業を中心とした50社の企業より関心表明書を取得していること、市内企業への契約予定額の割合を70%以上とすることを明記していることなど、地域経済への貢献の点が高く評価できる。

4.2. 空調設備の整備に関する提案

- ・ 学校行事や通学時間帯への配慮を重視し、事前アンケートやヒアリングによる継続的な協議等、学校現場の意向の把握を目的とした具体的な提案が評価できる。
- ・ 全校で同一機種を採用することにより、維持管理の効率化、部品調達の迅速化、運用面での学校間連携の向上を図っている点が評価できる。
- ・ 長期休暇中における工事に際しても、児童生徒の不定期な来校を想定した上で、実績に基づく安全対策が提案されている点が評価できる。
- ・ 臭気対策として触媒入り機器を採用し、周辺環境への影響低減を図っている点が評価できる。

4.3. ライフサイクルコスト等に関する提案

- ・ EHP(電気式)とGHP(ガスヒートポンプ式)を比較検討し、初期費用、受変電設備増設、防災機能等を総合的に勘案した設備方式を提案している点が評価できる。
- ・ 平常時の利用及び災害時の活用の両面に配慮するとともに、将来的な更新を見据えた合理的な設備計画が提案されている点が評価できる。

4.4. 防災対策に関する提案

- ・ 避難所における空調設備として、都市ガス供給停止時において、LP ガスへの切替えを容易とする運転計画が評価できる。
- ・ 地震発生時には遮断弁により自動的に運転を停止し、復旧時には、安全確認の後に容易な操作で誰でも再起動が可能な計画となっている点が評価できる。
- ・ ガス配管を建物外部に配置し、配管長を可能な限り短くすることで、ガス漏れ等のリスク低減を図っている点が評価できる。

5. 総評

本事業に参加した応募者は 1 グループであったものの、選定された事業者の提案は、事前に定められた予定価格の範囲の中で要求水準書を踏まえた事業者ならではの創意工夫が随所に見られ、優れた内容であった。提案に関する準備及び作業も膨大であったと推測されるが、本事業に対する応募者の熱意と誠実な姿勢に対し、高く評価するとともに深く感謝申し上げたい。

なお、委員より、以下の付帯意見が挙げられた。これらの事項について、市及び学校と十分な協議を行い、今後の対応に努めていただくことを期待する。

- ・ 提案内容が確実に実行されるよう、事務局及び各学校との綿密な連携を図りつつ、工期管理や施工体制の確保等を徹底すること。
- ・ 空調気流が体育活動に与える影響を CFD シミュレーションにより可視化し、対応策を含め、学校関係者へ分かりやすく説明すること。

最後に、本事業が順調に実施され、熱中症対策の推進及び学校教育環境の向上が図られるとともに、災害時の避難所機能の向上にも寄与し、市の学校教育及び防災体制のさらなる充実につながることを願う。